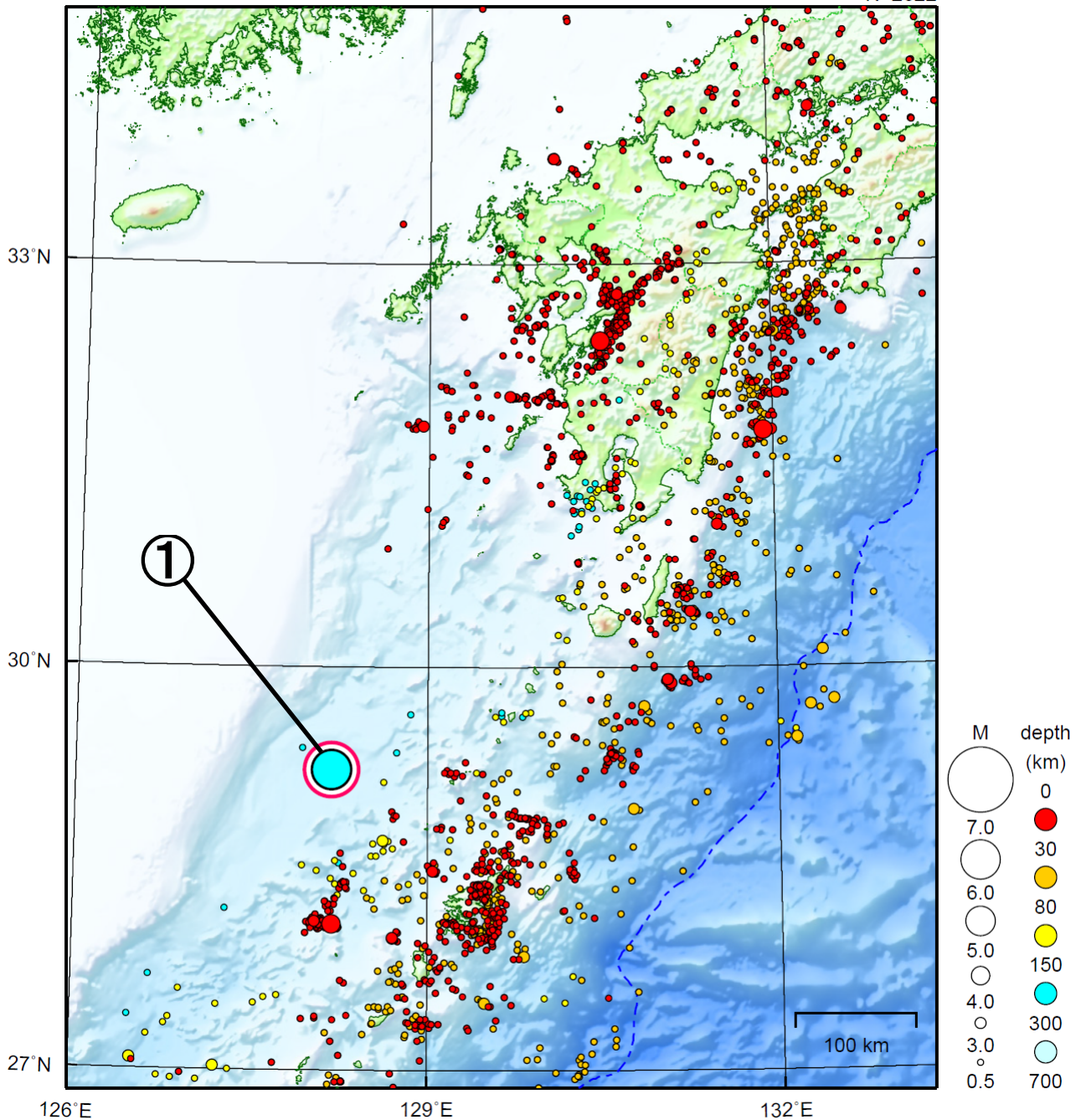


九州地方

2019/07/01 00:00 ~ 2019/07/31 24:00

N=2622



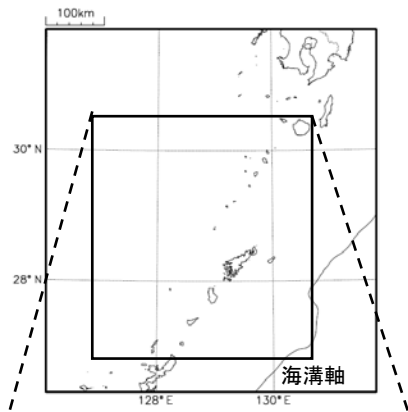
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 7月13日に奄美大島北西沖でM6.0の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

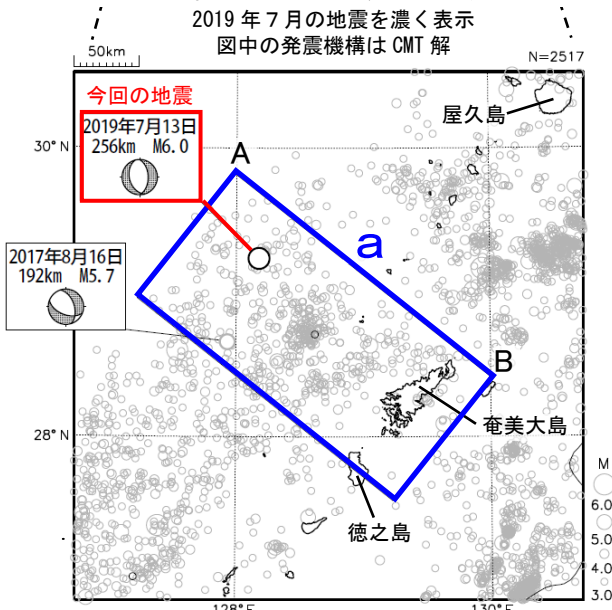
7月13日 奄美大島北西沖の地震



震央分布図

(1997年10月1日～2019年7月31日
深さ 50～300km、 $M \geq 3.0$)

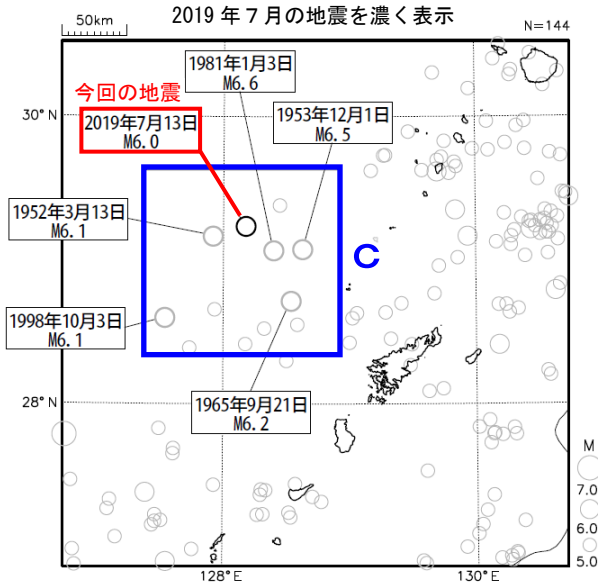
2019年7月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1922年1月1日～2019年7月31日、
深さ 50～300km、 $M \geq 5.0$)

2019年7月の地震を濃く表示

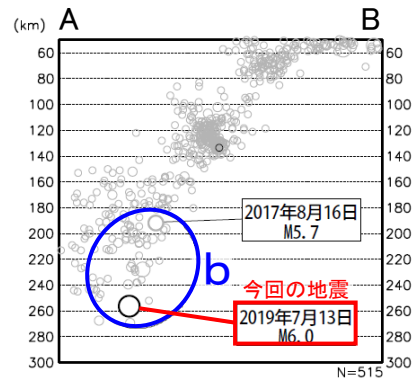


2019年7月13日09時57分に奄美大島北西沖の深さ256kmでM6.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

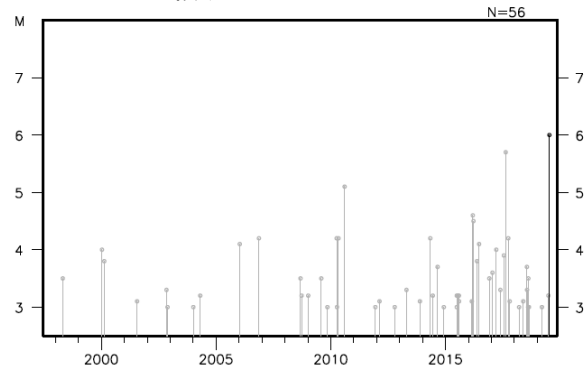
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2017年8月16日にM5.7の地震（最大震度2）が発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が5回発生している。1981年1月3日にはM6.6の地震（最大震度4）が発生した。

領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M－T 図



領域 c 内の M－T 図

